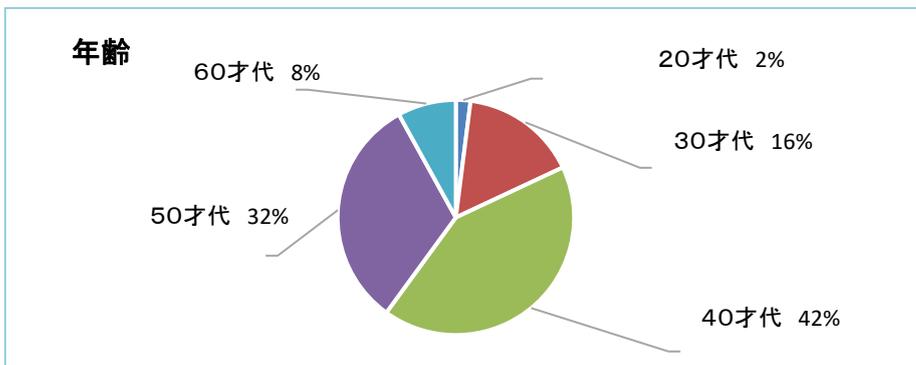


# 令和5年度 第2回 緩和ケアを学ぼう会 参加者アンケート結果

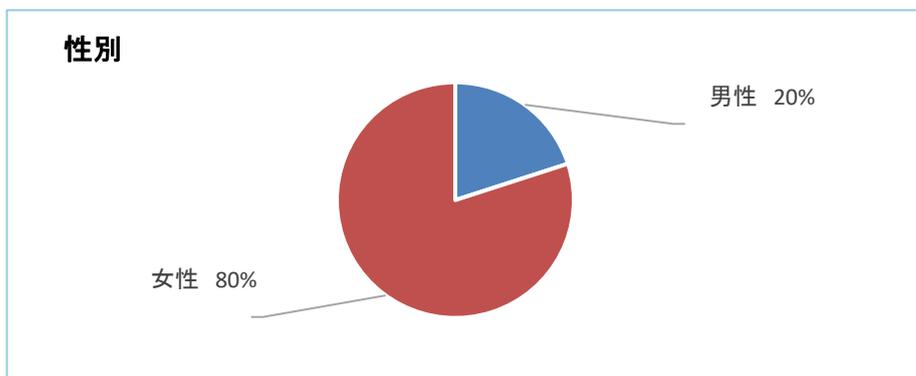
◆日時 令和5年9月4日(火) 18:30～  
◆参加人数 78名

◆ハイブリット開催  
◆アンケート協力者数 50名

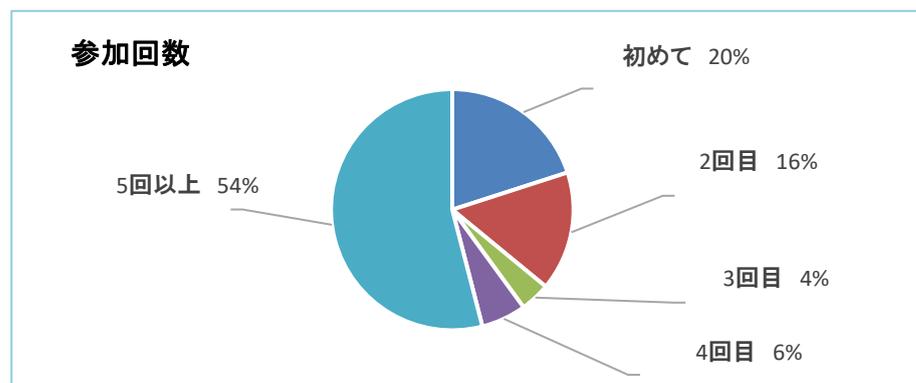
- 1 ・ 事例・取り組み紹介  
「ALSの方への緩和ケアの視点を取り入れたリハビリの取り組み」  
鶴岡地区医師会訪問看護ステーションハローナース  
理学療法士 五月女 美和子 氏
- ・ 「看取りケアの事例発表」  
特別養護老人ホームおおやま  
介護福祉士 ユニットリーダー 寒河江 実 氏
- 2 ・ 講義  
「終末期に起こる症状－評価から患者・家族ケアまで－」  
鶴岡市立荘内病院 緩和ケア認定看護師 上林 沙希子 氏



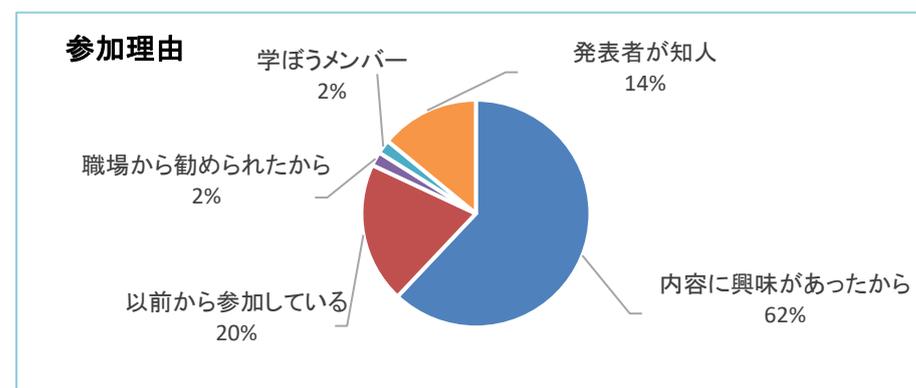
20才代	1
30才代	8
40才代	21
50才代	16
60才代	4
70才代	0
総計	50



男性	10
女性	40
総計	50

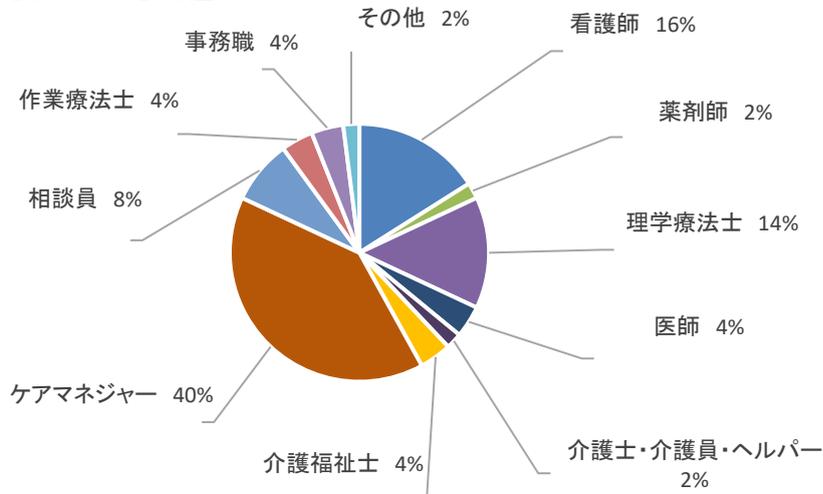


初めて	10
2回目	8
3回目	2
4回目	3
5回以上	27
総計	50



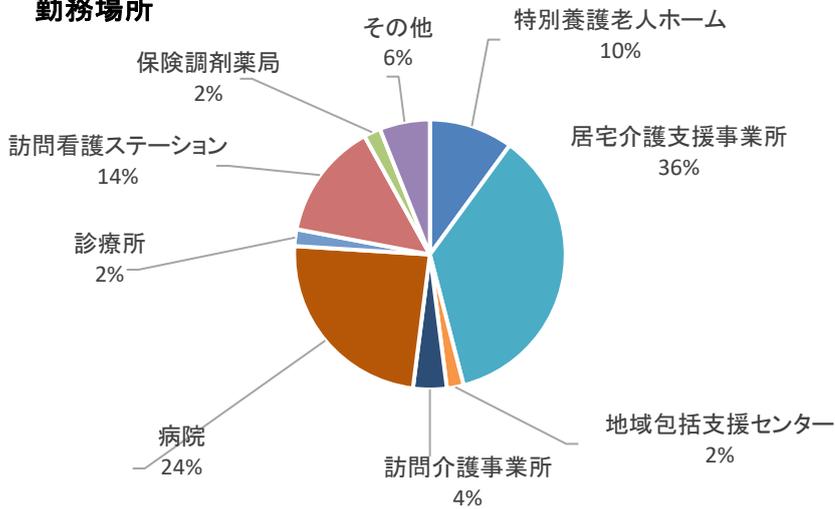
内容に興味があったから	31
発表者が知人	7
以前から参加している	10
職場から勧められたから	1
学ぼう会メンバー	1
総計	50

**現在従事している職種**



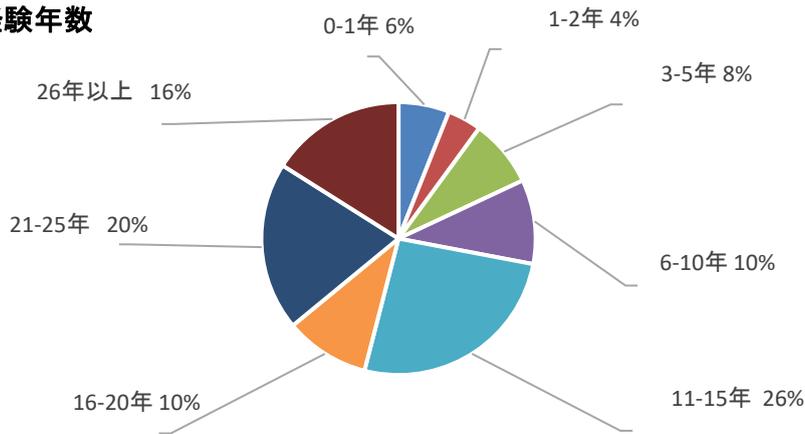
看護師	8
理学療法士	7
医師	2
介護福祉士	2
ケアマネジャー	20
相談員	4
薬剤師	1
作業療法士	2
介護士・介護員・ヘルパー	1
事務職	2
その他	1
総計	50

**勤務場所**



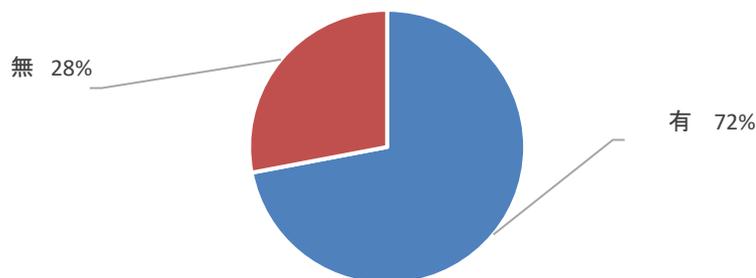
特別養護老人ホーム	5
居宅介護支援事業所	18
病院	12
訪問介護事業所	2
診療所	1
訪問看護ステーション	7
地域包括支援センター	1
保険調剤薬局	1
その他	3
総計	50

**経験年数**



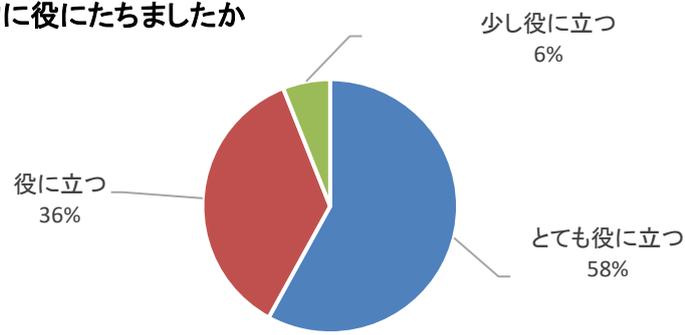
0-1年	3
1-2年	2
3-5年	4
6-10年	5
11-15年	13
16-20年	5
21-25年	10
26年以上	8
総計	50

**看取りの経験**



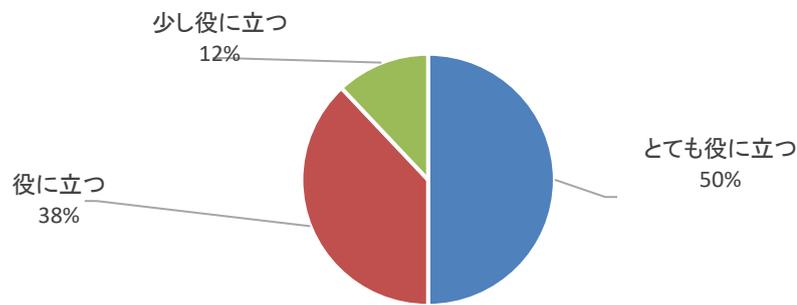
有	36
無	14
総計	50

全体的に役に立ちましたか



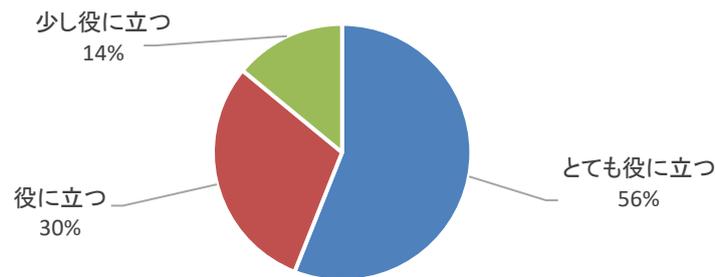
とても役に立つ	29
役に立つ	18
少し役に立つ	3
総計	50

事例 1 は役に立ちましたか



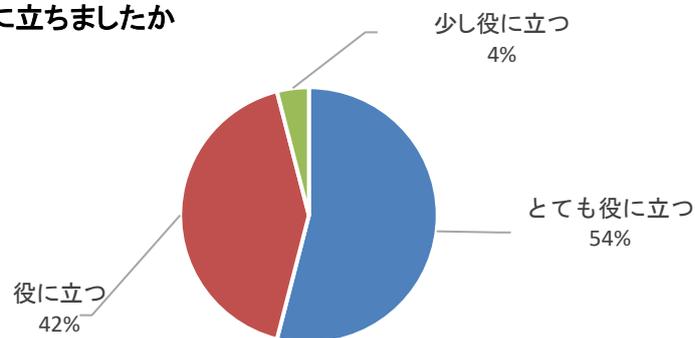
とても役に立つ	25
役に立つ	19
少し役に立つ	6
総計	50

事例 2 は役に立ちましたか？

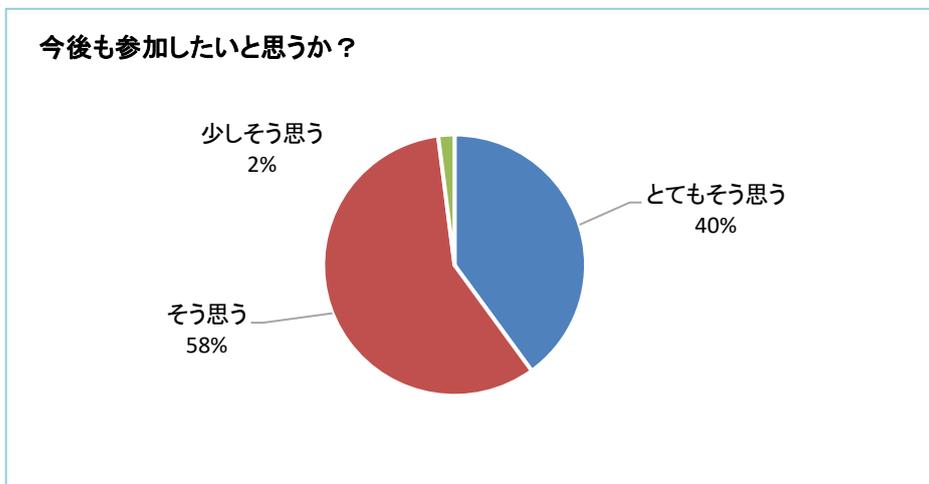
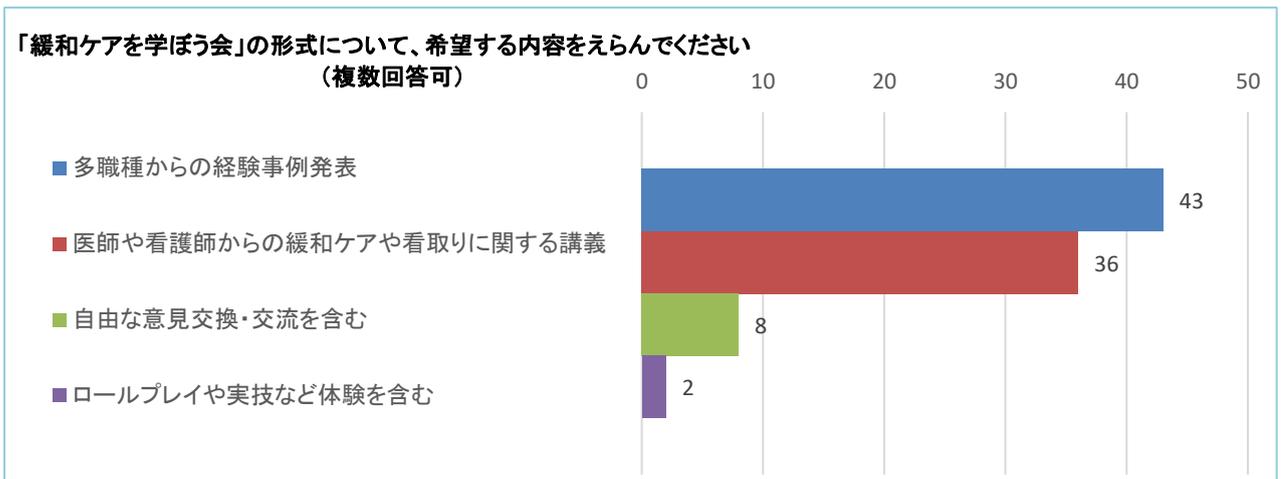
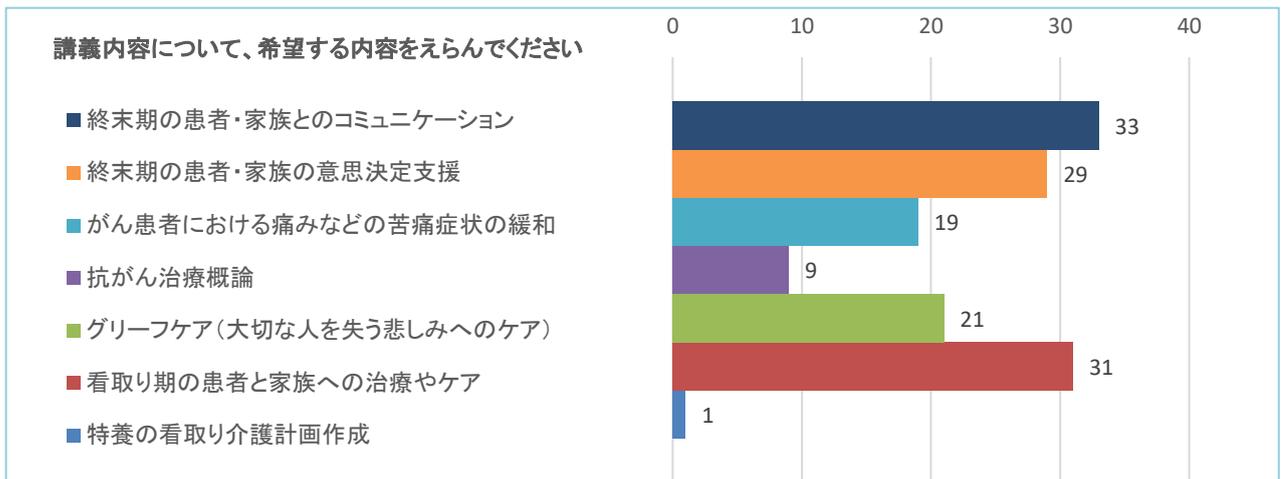
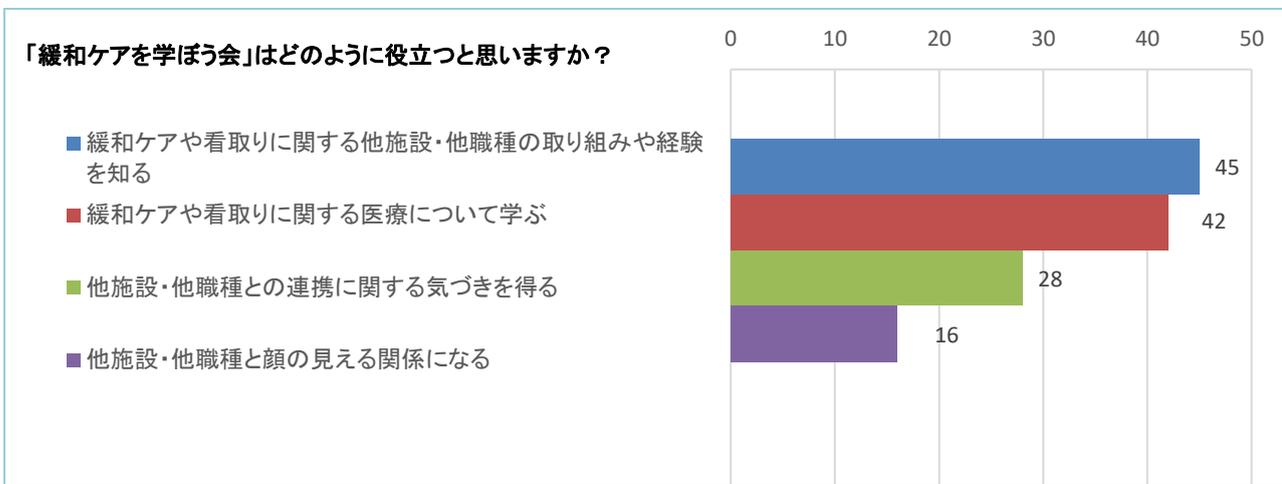


とても役に立つ	28
役に立つ	15
少し役に立つ	7
総計	50

講義は役に立ちましたか

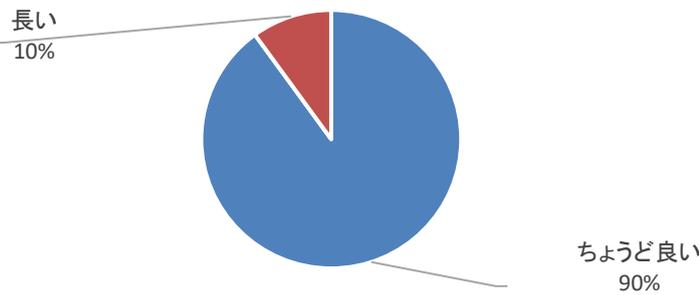


とても役に立つ	27
役に立つ	21
少し役に立つ	2
総計	50



とてもそう思う	20
そう思う	29
少しそう思う	1
総計	50

この会の時間の長さはどう思いますか



丁度良い	45
長い	5
統計	50

§ ご意見・ご感想など自由記述 §

学ぶ機会があることは、地域にとって大切だと思います。ありがとうございました
スタッフの無力感も緩和されました
今回ALSの事例発表がありました。神経難病についての講義も受けたいです。
とても考えさせられる内容でした。緩和ケアと今一度向き合ってみたいと思います
医療職の講義は難しかったが、理論に基づく終末期の対応が興味深かった。
終末期に起こる症状、患者さんだけでなく家族の方への関わり方などもわかりやすくお伝え頂きありがとうございました。
事例発表、講義ともにとっても心に残る内容でした。痛みや苦痛の症状緩和することが家族ケアにもつながること、家族がケアに参加したり、できていることを周囲が認めて伝えることが、死にゆく人を支える人たちの心の支えにもなるということを理解できました
緩和ケアについて皆さんの取り組みが勉強になります ケアマネとして終末期に本人家族さんにどのように寄り添うか勉強になります
開始時間を17:30や18:00など、早めに設定してもらえると、終了時間も早くなり、家庭や育児などある方も参加しやすくなると思う。
運営スタッフの皆さんお疲れさまでした。地域での素晴らしい多職種連携による緩和ケア、みとりの取り組みを聞かせていただき、協力し支えながらチームで取り組んでおられて感動しました。苦痛の評価の大切さ、オピオイドのお話もわかりやすかったです。ありがとうございました。
わかりやすい講義ありがとうございました。当施設でも看取りをしている入居者が14人ほどいます。その中で全員が同じケアでなくて、すごく難しく、このような講義がすごく力になります。これからも定期的な開催を期待します。
ALSの方を9月から担当することになりました。同じ疾患の方の事例発表はとても興味深かったです。私もQOLや主体性を大切にしたい関わりをしていかなければと思っていました。 質疑応答は各事例発表後または全ての事例発表後にした方が良いのではと思っていました。
事例発表の機会をいただき、大変勉強になりました。
ALSの方が作詞をしてコンサートをしたという取り組み素晴らしいと思いました。このような取り組みがあると生活にも目標が出来ていいなと感じました。
貴重なお話をきくことができ勉強になりました。ありがとうございました。
他事業所の取り組みや終末期の症状とその対応について参考になり今後役に立たいと思います。
いつも企画・運営ありがとうございます。当地域の緩和ケアに関わられている現場スタッフの方々からの事例はとても心に沁みるものでした。ご本人やご家族に寄り添ったケアの実践はこのコロナ禍においては本当に苦労されていると思いますし葛藤の日々とお察しいたします。皆様に敬意を表します。
医療的な在宅サービスの取り組みや、他施設の看取りケアについて知ることができ、とても参考になりました。ありがとうございました。

事例では本人、家族の気持ちに寄り添い、最期まで細やかな対応を行っており、素晴らしいと思いました。自分も本人、家族の気持ちを確認して、意思決定支援を行いたいと思います。研修に参加させていただいてありがとうございました。

終末期に起こる症状についての講義は大変有意義な物でした。訪問看護ではまだまだ初心者で、勉強になる事ばかりでした。ただ時間の都合だとは思いますが、早口で聞き取れない部分も多々あり、もう一度聴きたいと切に思いました、内容は素晴らしいと思いました。ありがとうございます。

講義内容に関心がもてました。説明が分かりやすかったです。ありがとうございました。

それぞれの取り組みについて、大変勉強になりました。また、講義において、薬の副作用なども知る事が出来て、大変良かったです。

医療的な薬剤からケア、リハビリの大切さなどとても参考になりました。有り難うございました。

往診を検討している段階で、皆がどのようにしているか勉強したかった。



～緩和ケアを学ぼう会グループ～